

明治ホールディングス株式会社 IR説明会

2025年12月18日

1. 基本情報

2. 成長戦略

3. 株主還元



明治ホールディングス株式会社 代表取締役社長 CEO

まつだ かつなり
松田 克也

生年月日：
1957年8月25日

略歴：

1980年 4月	明治乳業（株）入社
2007年12月	（株）明治 食品販売部長
2012年 6月	同社 執行役員
2017年 6月	同社 取締役専務執行役員
2018年 6月	同社 代表取締役社長
2020年 6月	明治ホールディングス（株） 取締役執行役員 COO（食品セグメント）
2025年 6月	同社 代表取締役社長 CEO（現任）

座右の銘：

夢を見て、夢を追いかけて、夢を喰う

CEO就任から半年を経て、いま大事に考えていること

● 社会も社員もワクワクする事業展開

- 技術資産の再評価で見えてきた強みを軸に、
現在、ウェルネスサイエンスラボを中心に事業化の加速に取り組み中
- グローバル市場を見据え、売上高1,000億円規模・利益率30%を狙う大胆な発想で
食品と医薬品の“シナジー”を追求していく

● 「変化・変革」のスピード感

- これまで踏み込み切れなかった改革を断行：ジョブ型人事制度の導入、ネクストキャリア特別支援実施など
- 構造改革・アセットライト化：四国明治（香川工場・松山工場）の生産終了など
- 食品の海外戦略を見直し中

【方向性】中国は規模の最適化、ビジネスモデルの再構築

北米・アジアなど各地域で好調な菓子事業には経営資源を重点配分



創業精神
「栄養報国」



創業者
相馬 半治

グループ理念

私たちの使命は、「おいしさ・楽しさ」の世界を拡げ、
「健康・安心」への期待に応えてゆくこと。

私の願いは、「お客様の気持ち」に寄り添い、
日々の「生活充実」に貢献すること。

私たち明治グループは、「食と健康」のプロフェッショナルとして、
常に一步先を行く価値を創り続けます。

食品セグメント



デイリー事業



カカオ事業



国内事業



海外事業



ニュートリション事業

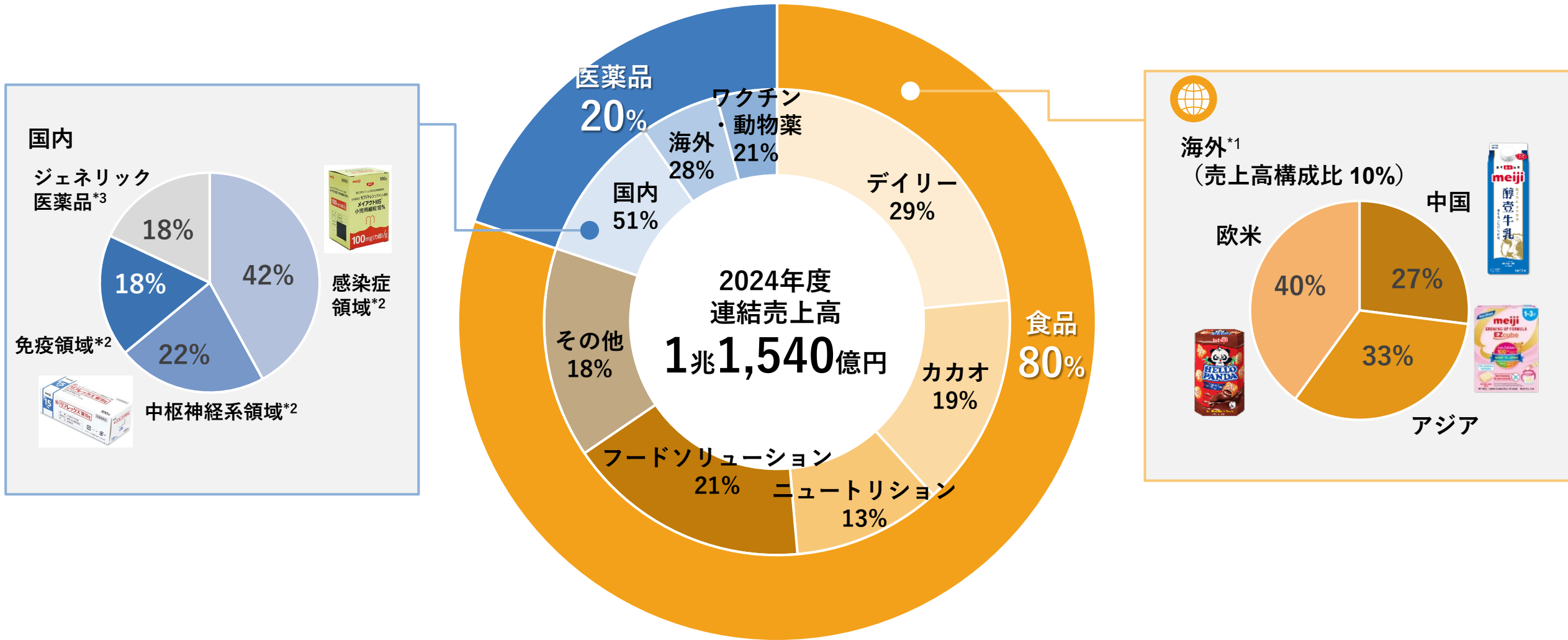


フードソリューション事業



ワクチン・動物薬事業

売上構成



※各事業の比率はセグメントに占める割合

食品セグメントの主要製品 国内市場シェア

デイリー事業

👑 No.1 in Japan



ヨーグルト
35.2%
市場規模
4,852億円

👑 No.1 in Japan



牛乳類
17.2%
市場規模
4,550億円

データ元：INTAGE SRI+

カカオ事業

👑 No.1 in Japan



チョコレート
25.3%
市場規模
4,545億円

No.3 in Japan



グミ
14.0%
市場規模
1,196億円

データ元：INTAGE SRI+

ニュートリション事業

👑 No.1 in Japan



プロテイン
36.4%
市場規模
1,438億円

👑 No.1 in Japan



流動食（市販向け除く）
30.9%
市場規模
1,098億円

データ元：明治調べ

フードソリューション事業

No.3 in Japan



チーズ
10.1%
市場規模
2,079億円

No.7 in Japan



アイスクリーム
9.1%
市場規模
6,387億円

データ元：INTAGE SRI+

医薬品セグメントの主要製品 国内市場シェアと海外事業内容

国内事業

 **No.1 in Japan**

全身性抗菌剤

24.6% 市場規模 2,100億円



Copyright © 2025 IQVIA.
Source: Calculated based on JPM 2025
Mar MAT Market scope as defined
by Meiji Seika Pharma
*Reprinted with permission

No.4 in Japan

抗うつ薬+非定型抗精神病薬

8.9% 市場規模2,133億円



Copyright © 2025 IQVIA.
Source: Calculated based on JPM 2025
Mar MAT Market scope as defined
by Meiji Seika Pharma
*Reprinted with permission

ワクチン・動物薬事業

 **No.1 in Japan**

インフルエンザワクチン

38.4% 市場規模691億円



Copyright © 2025 IQVIA.
Source: Calculated based on JPM 2025
Mar MAT Market scope as defined
by Meiji Seika Pharma
*Reprinted with permission

海外事業

・インドネシア、タイ、中国、スペイン、インドなどの
現地子会社を拠点にグローバルな生産体制、販売網を整備



明治グループの強み

- お客様の気持ちに寄り添った製品開発、時代を先取りした付加価値の訴求により新市場を創出

チョコレート



おいしさ・楽しさに加えて、
チョコレートの健康機能に注目

機能性ヨーグルト



R-1乳酸菌EPSを2倍配合し、
機能性を強化

スポーツプロテイン



ドリンクタイプを発売し、
気軽なたんぱく質の摂取を実現

牛乳



生乳本来のおいしさを
家庭で味わう技術の開発

乳幼児ミルク



キューブや液体ミルクの
新形態で利便性向上

抗菌薬



1946年にペニシリンの培養開始
抗菌薬のトップメーカーとして、
医療に不可欠な抗菌薬の多くを供給

本日の内容

1. 基本情報

2. 成長戦略

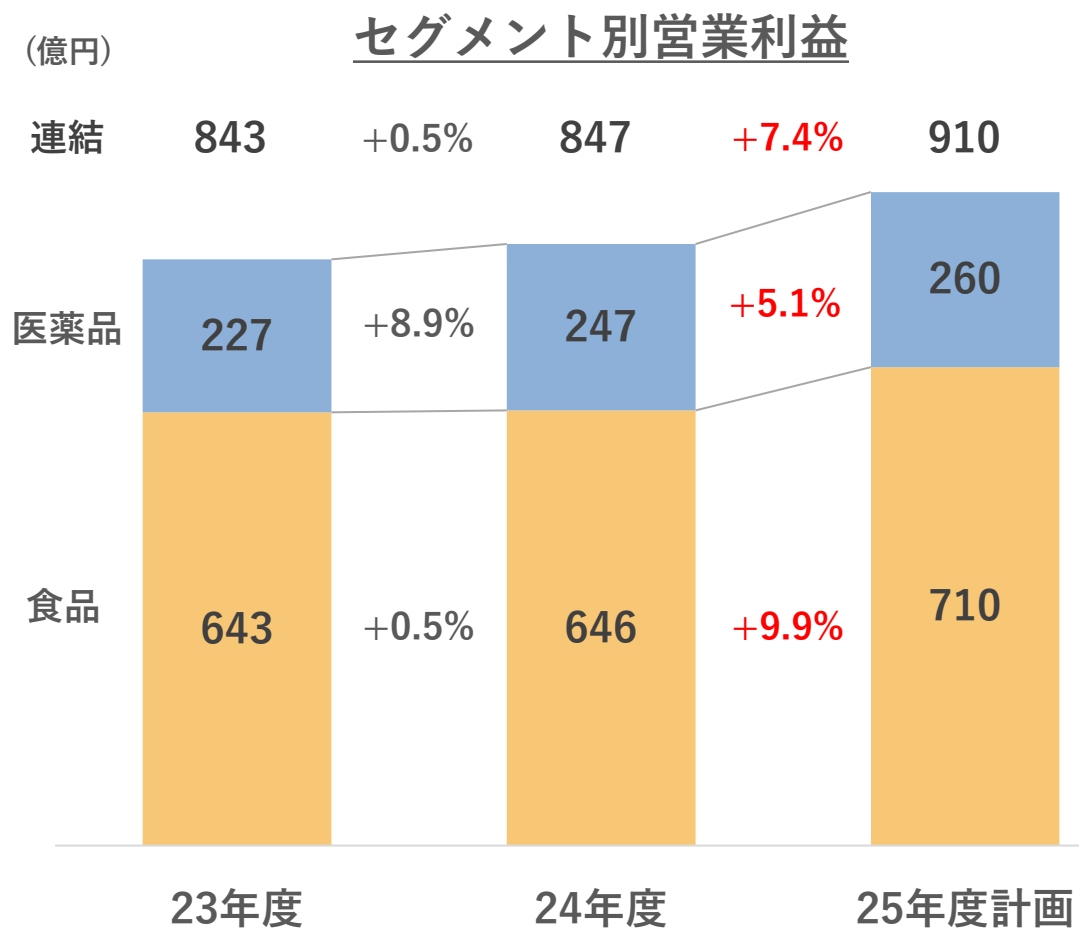
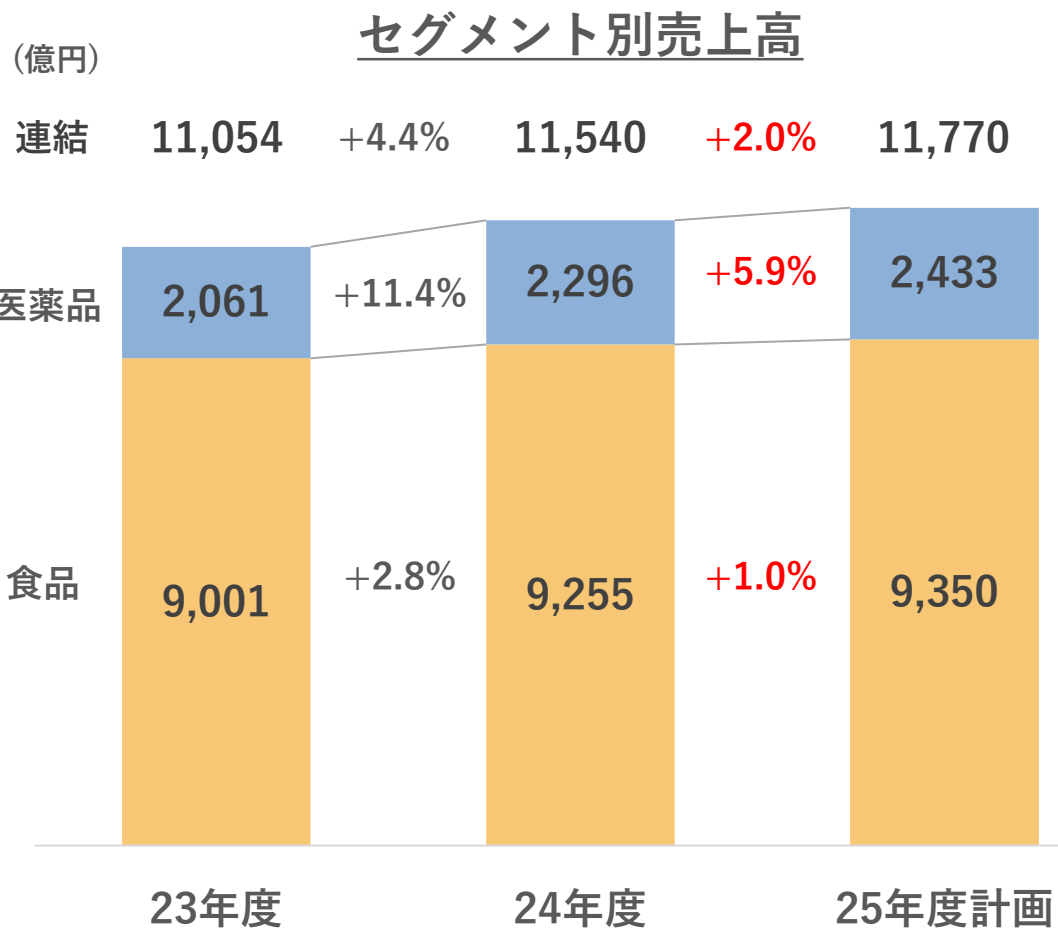
3. 株主還元

2025年度 計画

健康にアイデアを

meiji

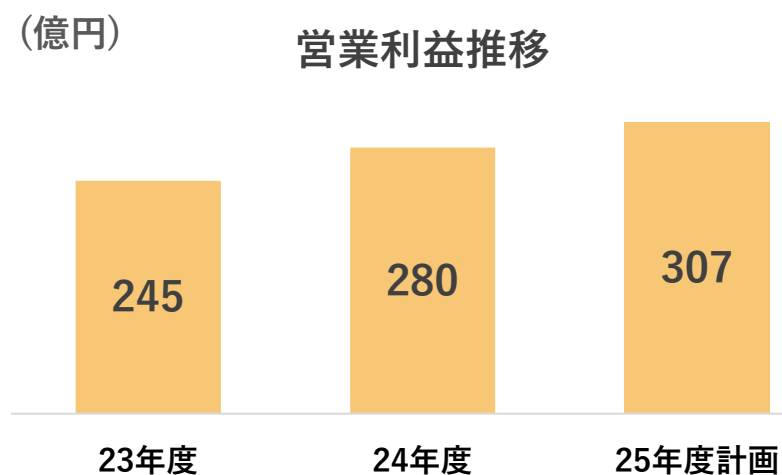
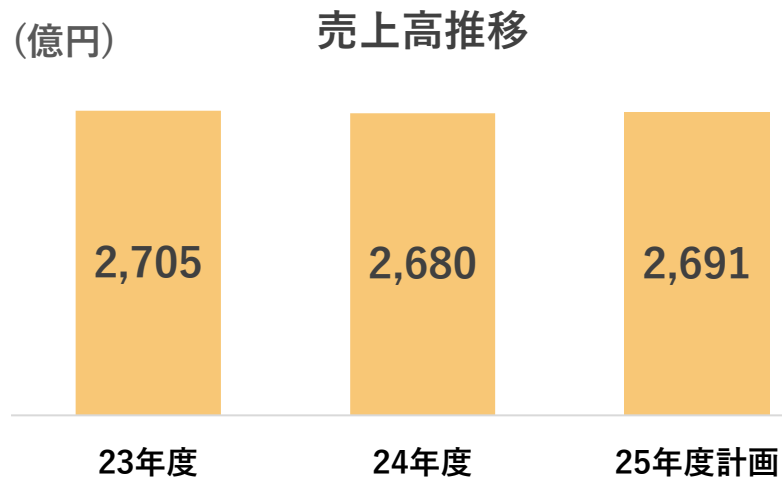
● 両セグメントとも増収増益の計画



デリー事業（国内）

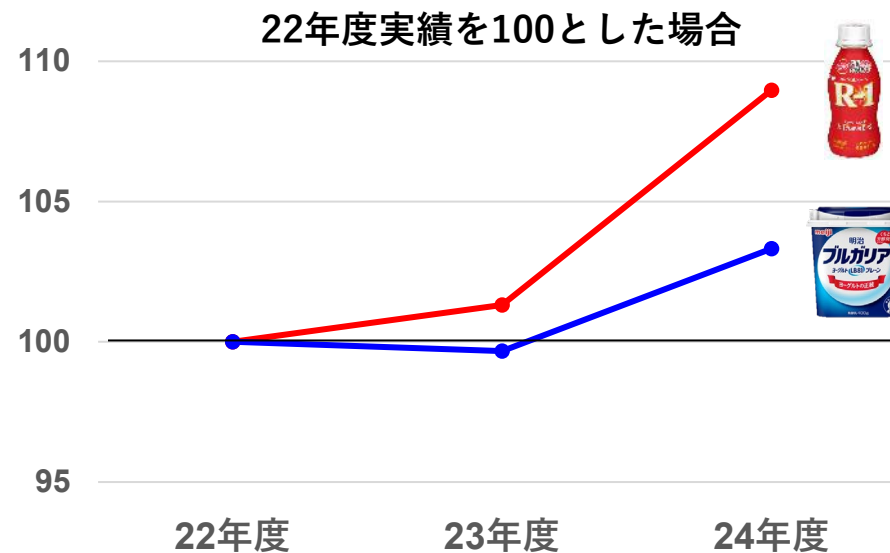
健康にアイデアを

meiji



主力品がいずれも好調！

- 市販用R-1、明治ブルガリアヨーグルト売上高



25年度上期も
好調継続！



新キャラクター
「アールおじさん」

さらなる成長に向けた取り組み

- 新商品発売による市場活性化
- 生産体制の最適化に着手

新商品「明治ヘモグロビンA1c対策ヨーグルト」

MI-2乳酸菌が健康な方の高めの
ヘモグロビンA1c*の
低下をサポートする

機能が報告されています

＊血糖コントロールの指標



機能性表示食品

※パッケージ上でヘモグロビンA1cに言及する乳製品として/2025年6月 先行技術調査及びMintel GNPDを活用した当社調べ

●機能性表示：本品には*L.plantarum* OLL2712株(MI-2乳酸菌)が含まれます。MI-2乳酸菌は、BMIが高めの健康な方の、健常域で高めのHbA1c(血糖コントロールの指標)の低下をサポートすることが報告されています。●食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。●本品は、特定保健用食品と異なり、機能性及び安全性について国による評価を受けたものではありません。届け出られた科学的根拠等の情報は消費者庁のウェブサイトで確認できます。●本品は、医薬品ではありません。

生産体制の最適化に着手

- 生産拠点集約による生産効率化を図る
- ヨーグルトの賞味期限を延長することで、廃棄ロスの削減や連続生産を実現し、生産効率の改善を図る

生産中止予定工場

神奈川工場
(2027年3月)

東北工場
(2025年11月)

戸田工場
(2027年7月)

神奈川新工場

- 稼働予定：2027年3月
- 投資額：約400億円
- 生産品目：プレーンヨーグルト、
ドリンクヨーグルトなど



生産中止予定工場

西春別工場
(2027年3月)

本別工場
(2027年9月)

北海道新工場

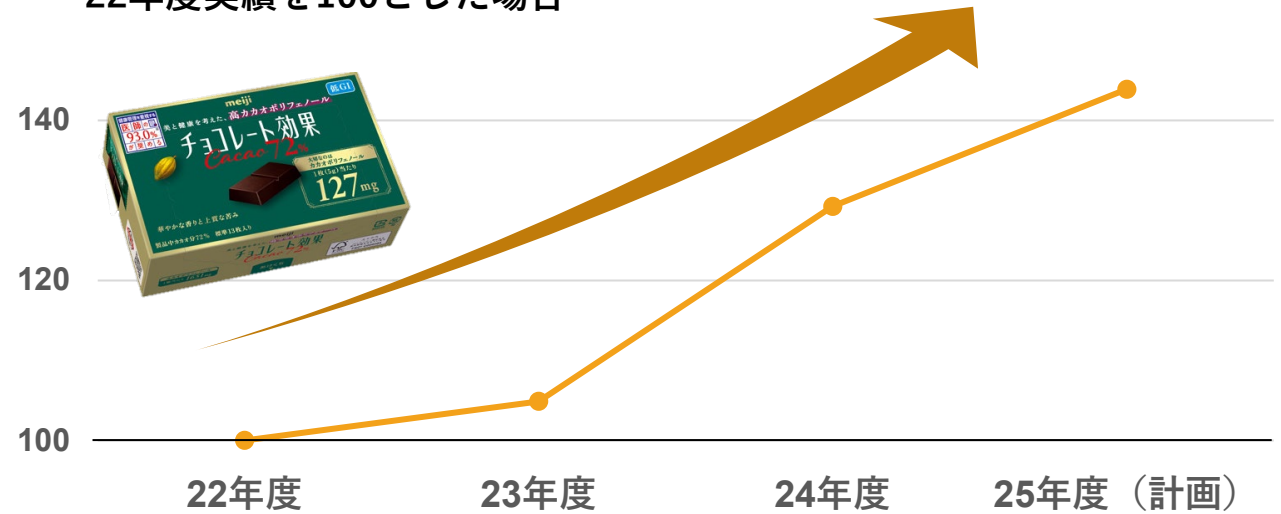
- 稼働予定：2027年3月
- 投資額：約480億円
- 生産品目：脱脂濃縮乳、脱脂粉乳、
乳たんぱく質、クリーム、バターなど



カカオ事業（国内）：原料高騰を跳返し、新たなチョコレート市場を開拓

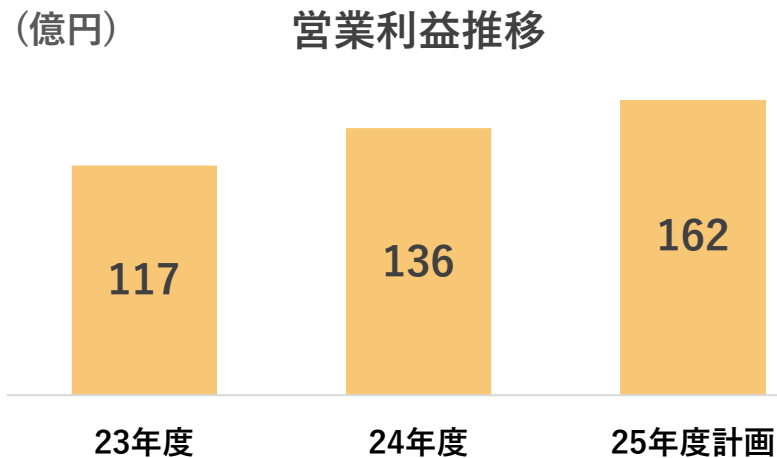
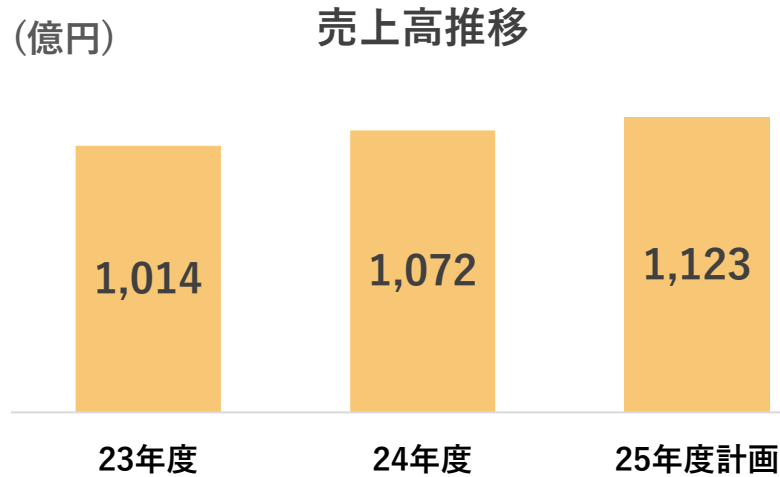
● チョコレート効果売上高

22年度実績を100とした場合



25年度発売 新商品「生のとき」

ミルクチョコレート99周年



ひらけ、カカオ。とは

- カカオの可能性を最大化するサステナブルアクションのこと
- 2022年より、カカオに関わるすべての人の幸せを目指し活動を開始



目指す姿

- (1)
農家の負担を増やさず
経済価値を増やす
- (2)
生活者の
「健康的な食生活」を実現
- (3)
アップサイクルにより
さらなる経済価値を
生み出す

3. 未活用部位の活用・付加価値化

- 加工段階で取り除かれて有効利用がされていないカカオハスクをアップサイクル
- カカオハスクの加工技術を応用し、海外未活用部位「カスカラ」の活用を目指す

アップサイクルの取組み

- (株) ヘミセルローズとの取り組み



カカオバイオ
プラスチック



遊べる！学べる！サステナブルきのこの山
2025年7月22日 全国で期間限定発売

カカオバイオプラス
チックから、デニムや
ボールペンを開発



株式会社ドアーズ
カカオGジャン



ゼブラ株式会社
サラサクリップ

- 国際的な展示会への出展

【大阪・関西万博】

【TICAD9】

【COP30】



大阪：7/1-7/7
(ヘミセルローズ社出展協力)



横浜：8/20-8/22



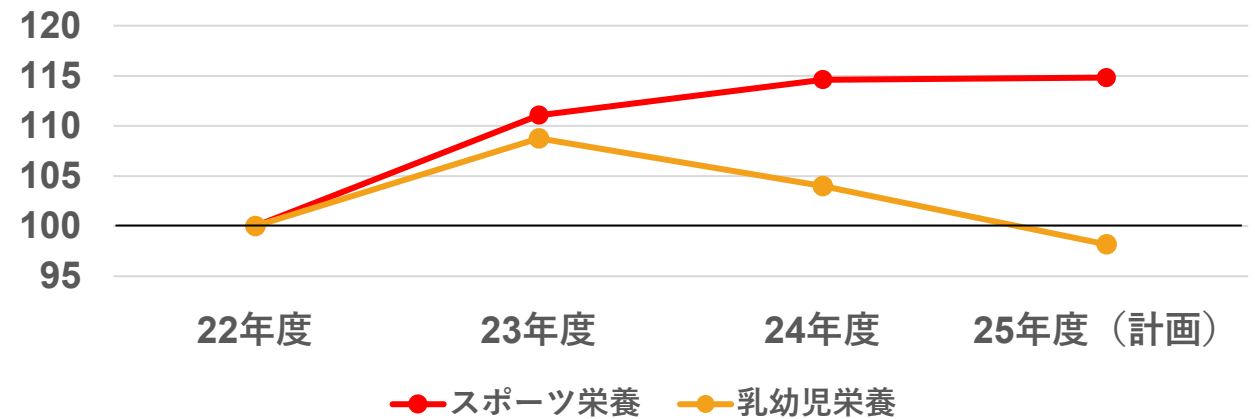
ブラジル
：11/17-11/20

アップサイクル技術の現地ビジネス化を通じて、持続可能なカカオ生産への貢献を目指す

ニュートリション事業（国内）：ターゲットにあったラインアップを強化

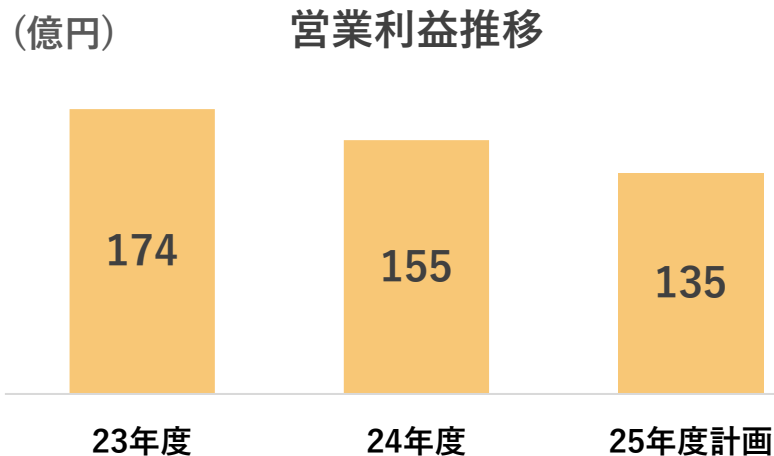
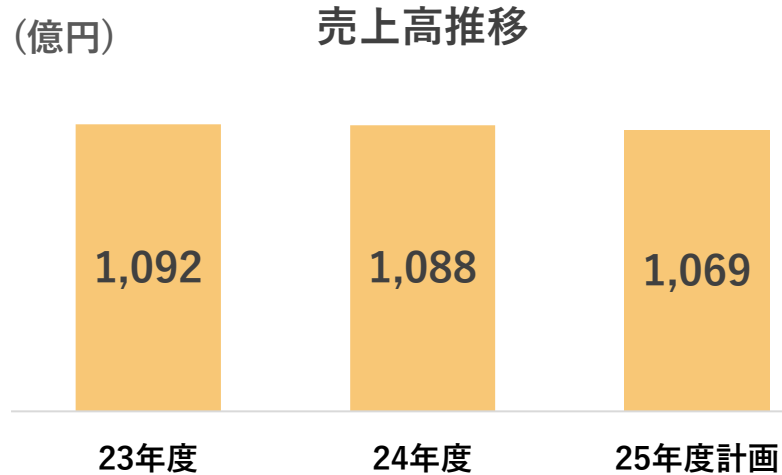
● スポーツ栄養、乳幼児栄養売上高

22年度実績を100とした場合

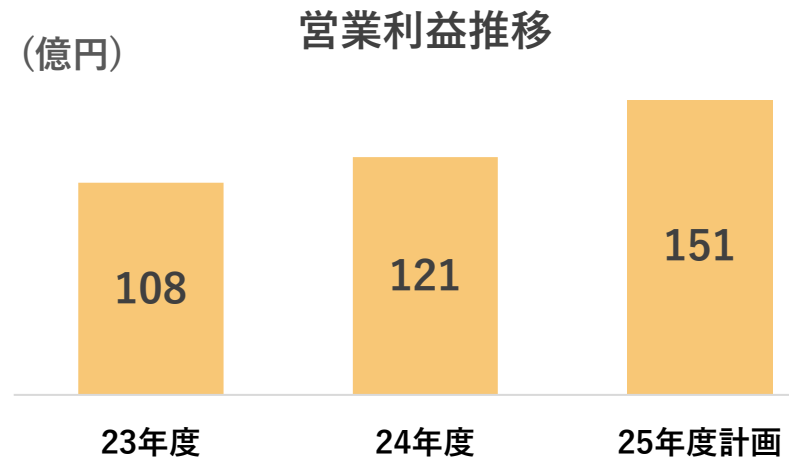
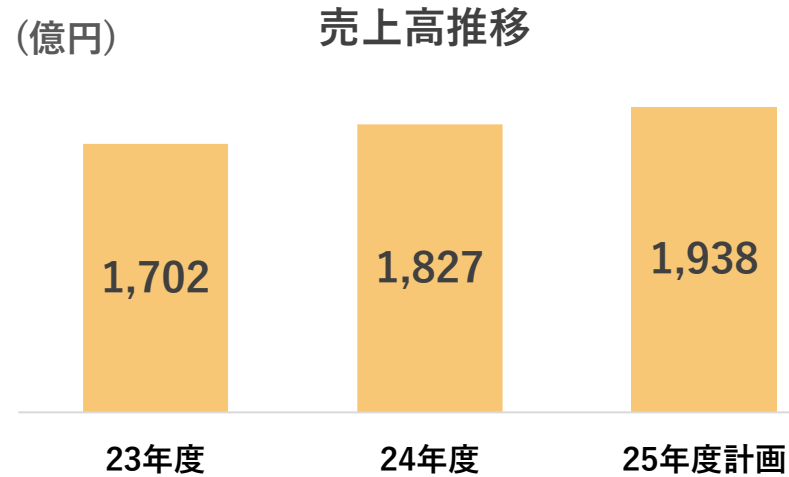


25年度発売 新商品ラインアップ

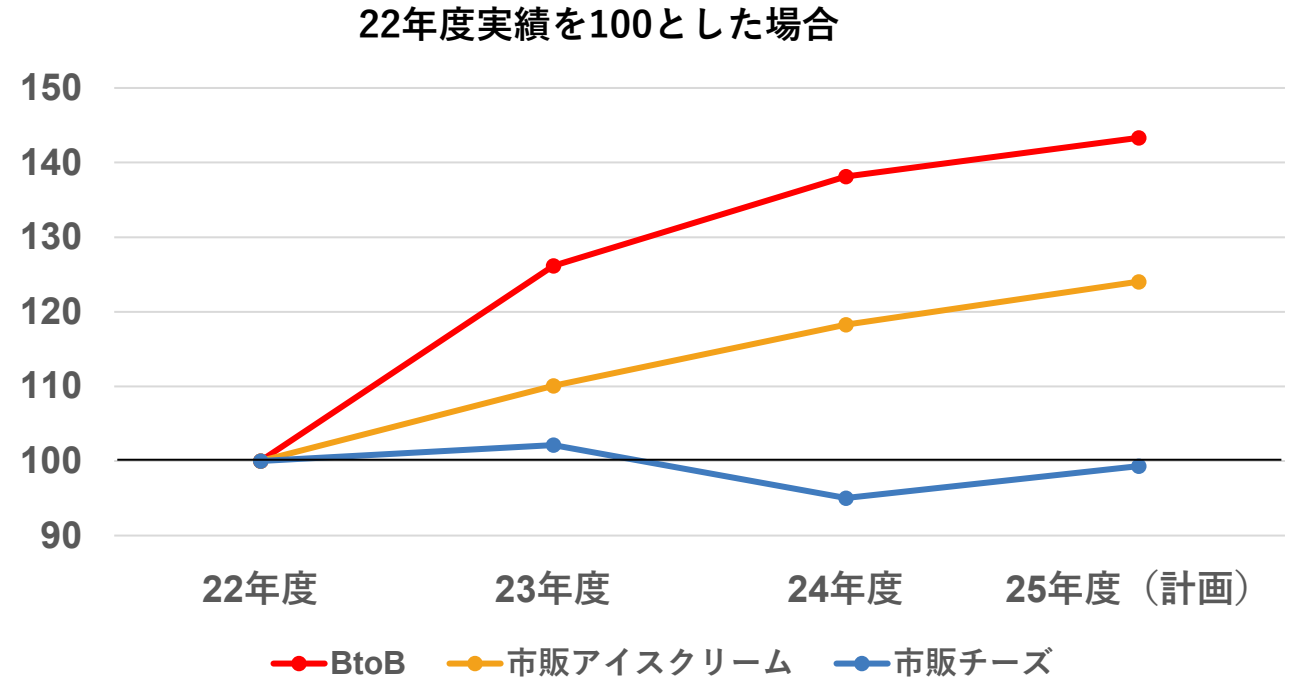
乳児用調製粉乳では
日本初！
ビフィズス菌を配合



フードソリューション事業（国内）：好調なBtoBをさらに強化



● BtoB、市販アイスクリーム、市販チーズの売上高



BtoB事業の歴史

- 1982年 発足、2025年で43年
- 2022年 アプリケーションセンター稼働開始
- 2024年 売上・利益過去最高を更新！

フードソリューション事業（国内）：BtoB主力品紹介

みずねり

● 瑞練＜生ショコラ＞

世界初!!
明治の独自技術が可能にした
冷蔵冷凍不要生チョコ



商品の特徴

① 冷凍・冷蔵に縛られない商品設計が可能

- ・流通温度帯の幅が広がり、販路拡大
- ・保存料・アルコール不使用

② 加工の多様性

- ・ナッツ(固形)やピューレ(液状)等の他素材と混合が可能
- ・包餡/センター/練り込み/サンドなど多用途活用が可能

③ 賞味期限12ヶ月の「生チョコレート」

- ・独自製法による水分活性の低下を実現
- ・微生物リスクを低減、保存性向上

フードソリューション事業（国内）：BtoB主力品紹介

● ルミエージュ



4分が、
2分48秒に短縮！

商品の特徴

- ①ホイップ時間 約30%短縮（※）
- ②超低脂肪：植物性脂肪18%
- ③約30%カロリーオフ（※）

※当社植物性脂肪28%比較

● カカオーロ

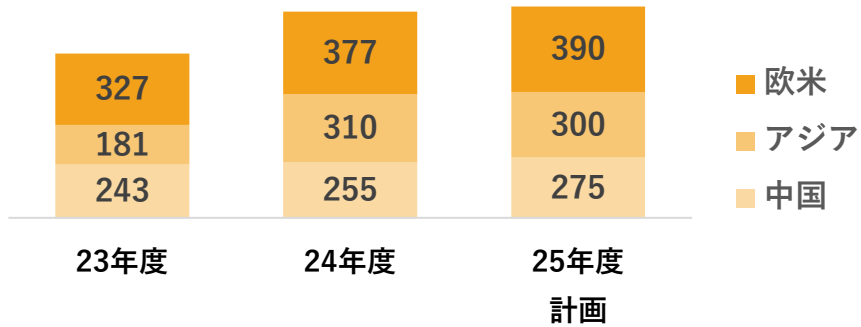


商品の特徴

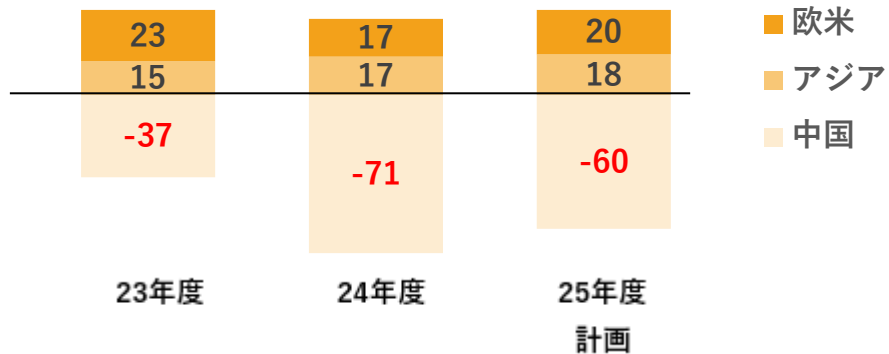
- ①しっかりとしたカカオ感
 - ・原材料に「カカオマス」「カカオエキスパウダー」を使用することでしっかりとしたカカオ感を出すことができます
- ②砂糖・香料不使用
 - ・商品に合わせて自由自在に甘さと香料をカスタマイズ可能

食品海外の成長戦略

(億円) エリア別 売上高推移



(億円) エリア別 営業利益推移



展開エリア

- 米国・アジア・中国・欧州にて事業を展開



エリア	展開カテゴリー
米国	カカオ
アジア	カカオ、ニュートリション、デイリー
中国	デイリー、カカオ、BtoB、アイスクリーム
欧州	ニュートリション

中国の成長戦略

- 多様な事業を展開、それぞれの事業に合わせた施策を実行
- 好調な小売店への提案を強化

デイリー

- 新商品の展開や販売先の新規開拓に注力

カカオ

- 板チョココレートがけん引して堅調な伸び

BtoB

- 商品ラインアップの拡充で好調なクリームをさらに強化

アイスクリーム

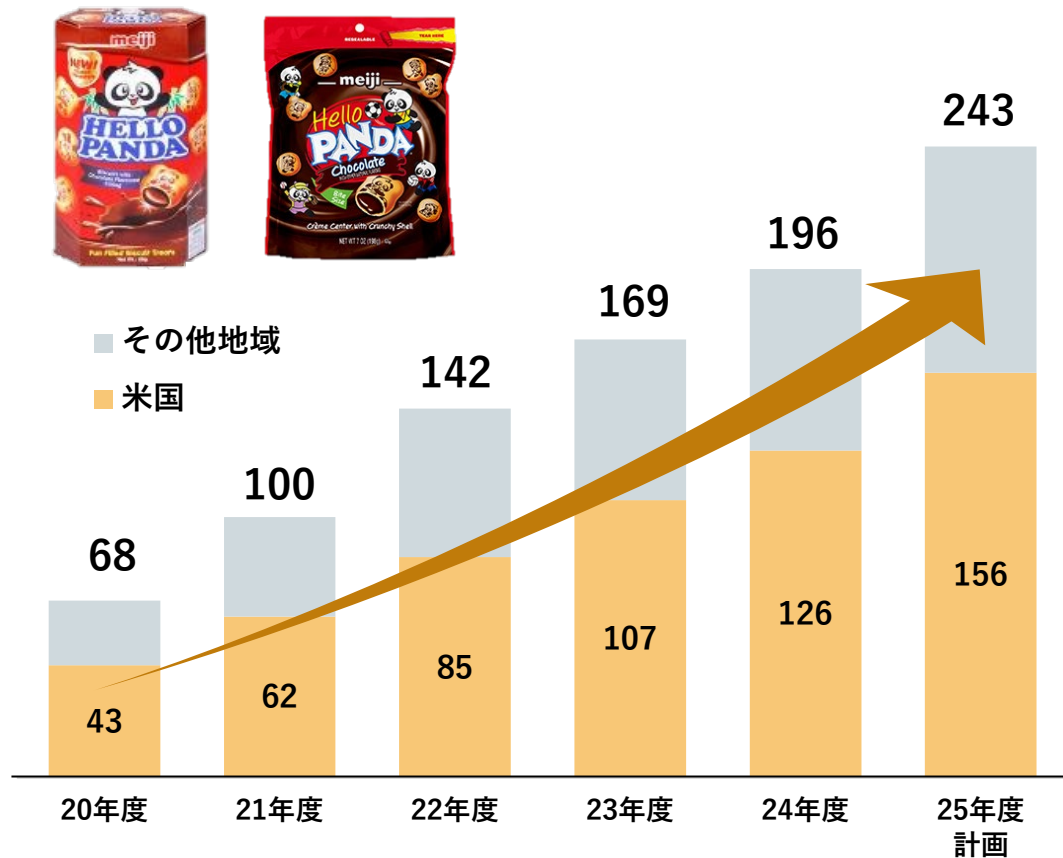
- 低調。次シーズンに向けて商品・営業戦略を見直し



米国の成長戦略

- チョコレートスナック「ハローパンダ」の製造能力アップにより米国小売大手での展開中

ハローパンダ 海外売上高（億円）※



※収益認識基準適用前売上高

ハローパンダ展開国・エリア数

30以上

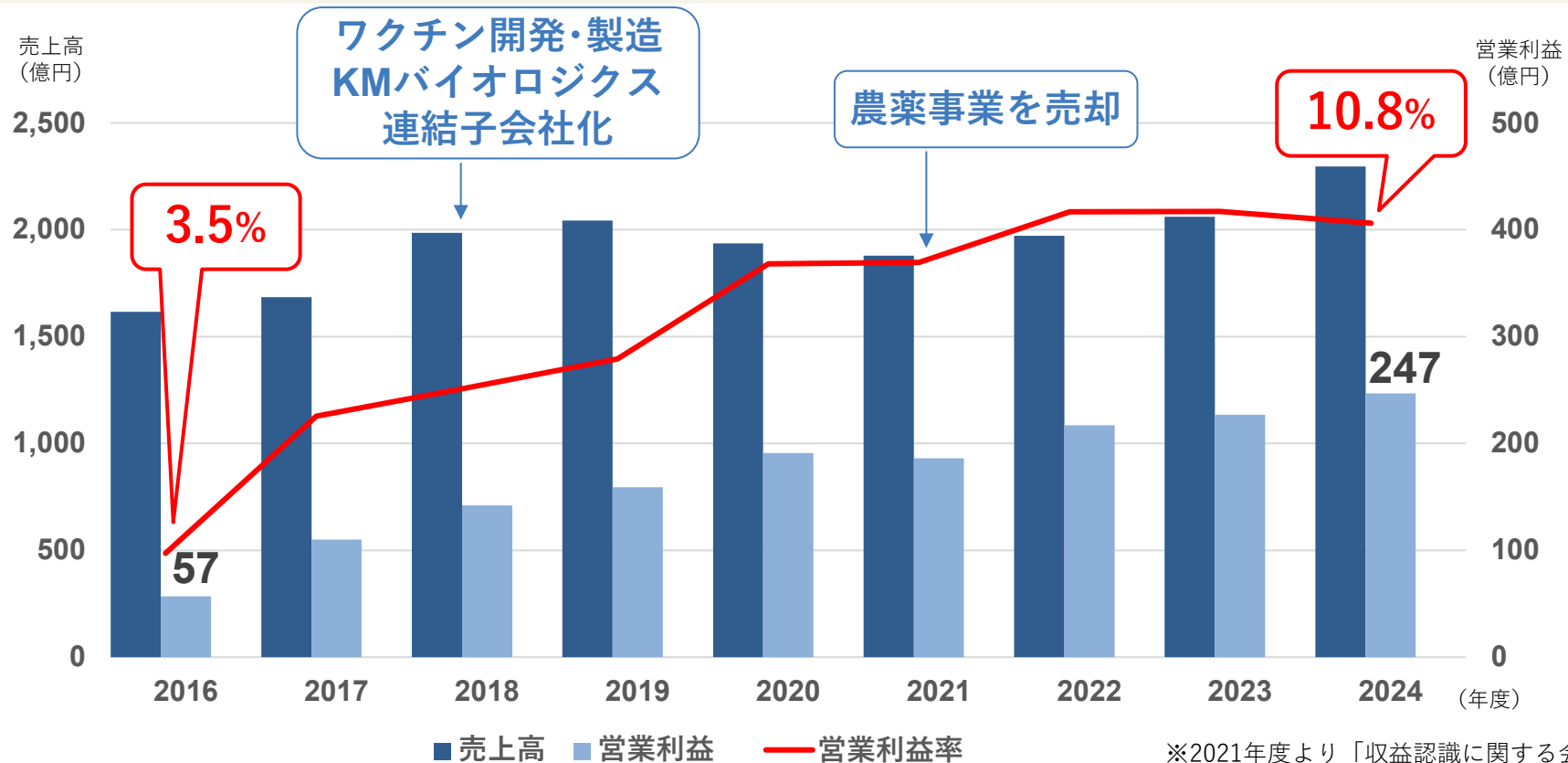
年平均成長率（20年度-25年度計画）

+29.0%

医薬品事業の安定成長

- 事業ポートフォリオの選択と集中を通じて、業績拡大・マージン改善を実現

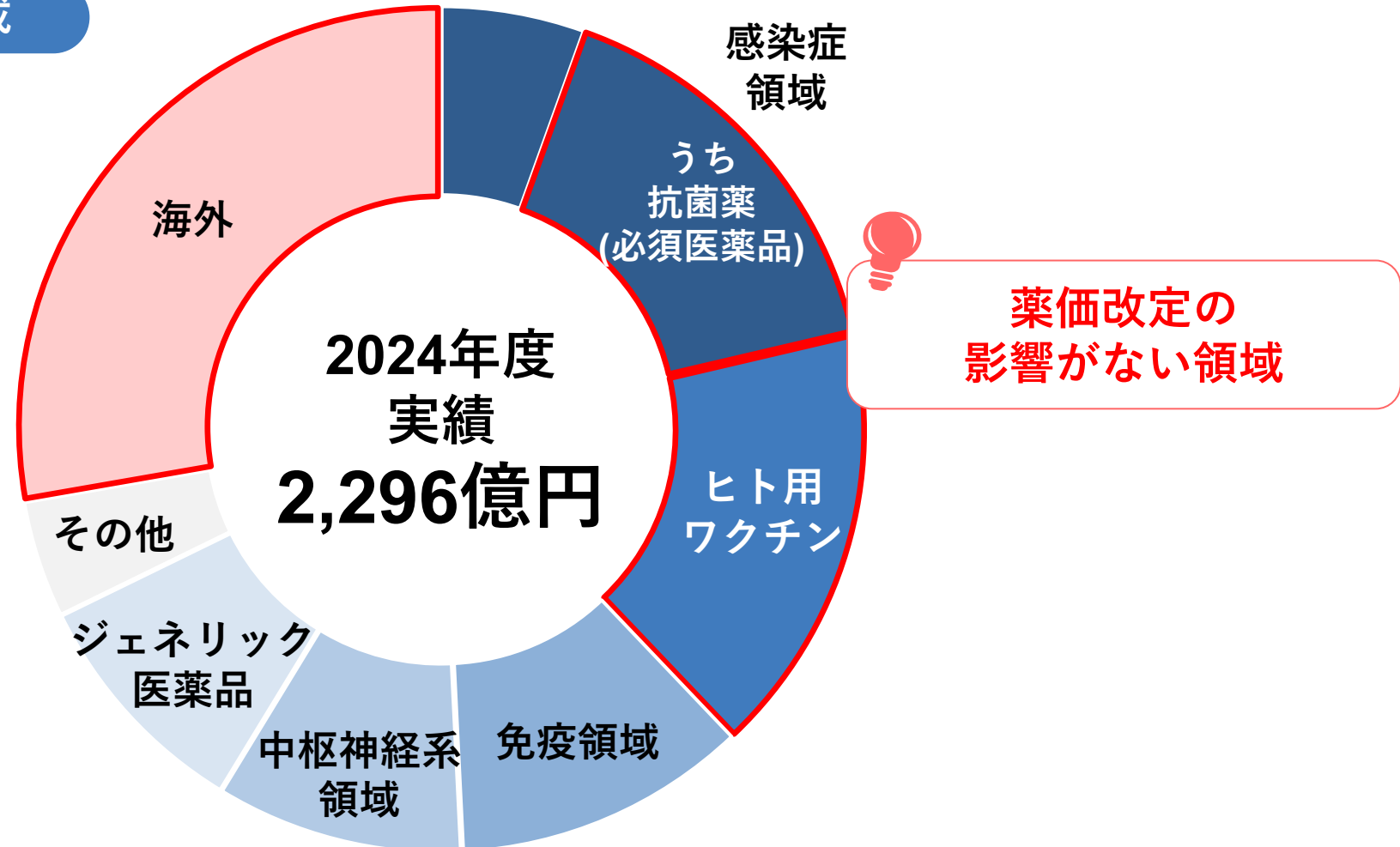
業績の推移



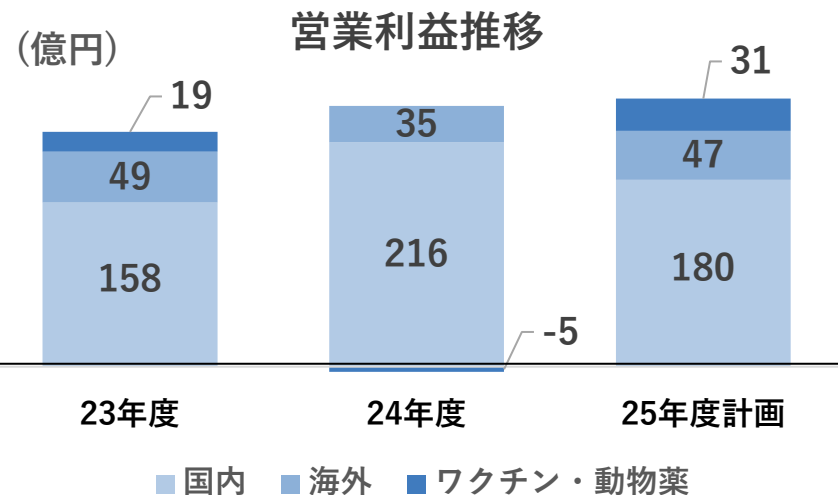
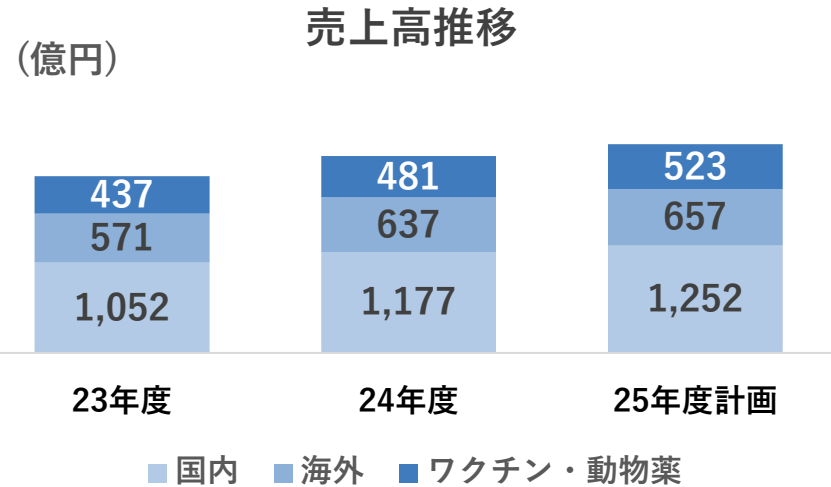
差別化された事業ポートフォリオ

- 薬価改定の影響を受けない製品・事業の売上高が50%以上

カテゴリー別売上高構成



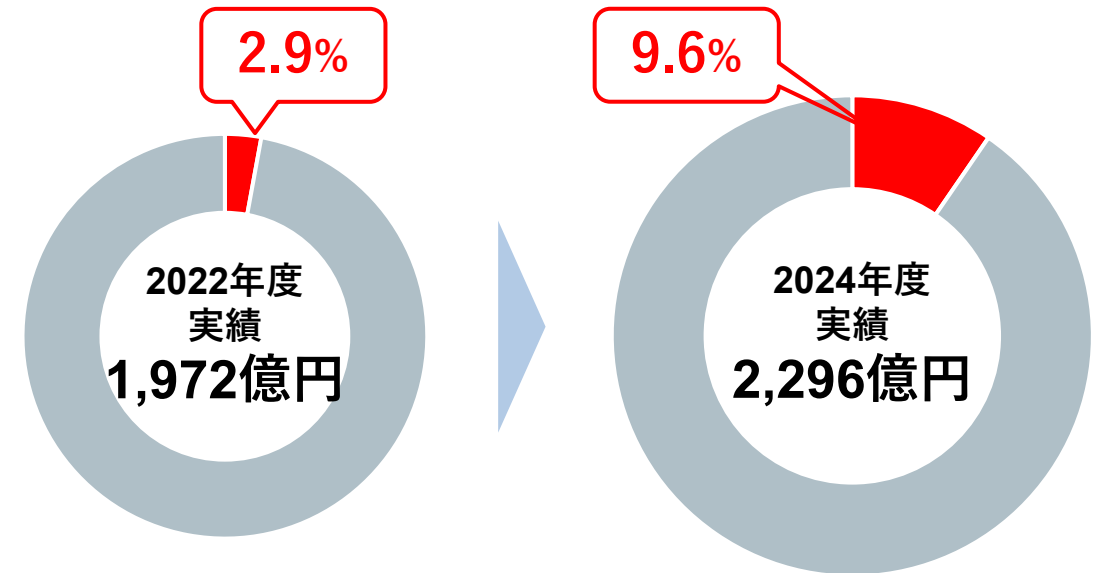
売上高に新薬が占める割合は年々増加



新薬が売上増に貢献！

- 免疫領域や中枢神経系領域も、新薬により成長に貢献

医薬品セグメント売上高に占める**新薬3品**※売上高構成比



※新薬3品：

- クイントバック（5種混合ワクチン）
- レズロック錠（cGVHD阻害剤）
- エクフィナ錠（パーキンソン病治療薬）

ヒト用ワクチン

免疫領域

中枢神経系領域

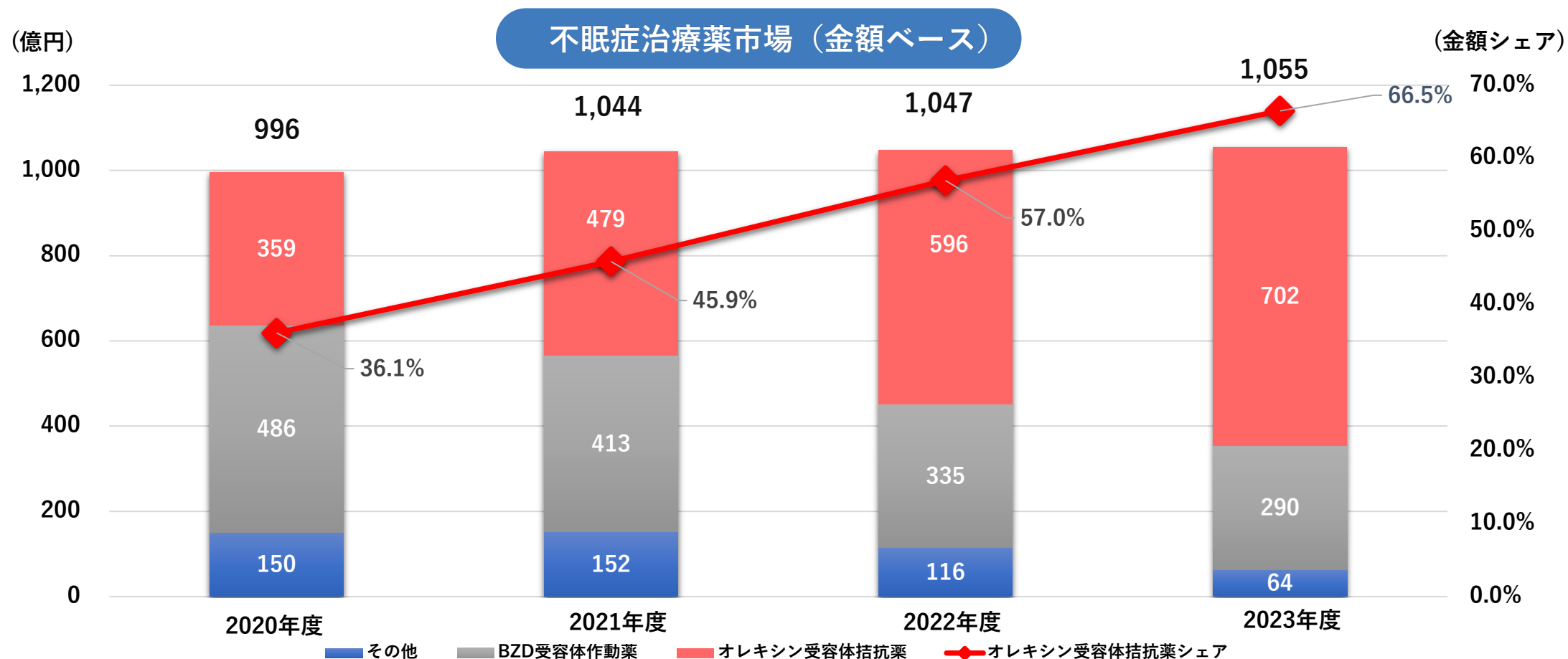
今年度中に大正製薬と共同販売を開始予定

中枢神経系領域

健康にアイデアを

meiji

- オレキシン受容体拮抗薬「ボルズィ」は、拡大傾向にある不眠症治療薬市場において期待の新薬
- 2025年8月に大正製薬が製造販売承認を取得、11月27日より販売開始



新薬による成長の上乗せ

レズロック錠

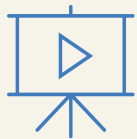
免疫領域

- 造血幹細胞移植後の慢性移植片対宿主病を効能・効果として日本国内で承認取得済み
- 海外ではアジア12か国で開発及び販売する権利を有している
- すでに韓国・台湾は承認取得済みであり、タイでの承認も2025年8月に取得

OP0595（ナキュバクタム）

感染症領域

- 日本政府の支援を受けて開発中の薬剤耐性（AMR）対策に向けた新規 β -ラクタマーゼ阻害剤
- 2025年度に日本国内で薬事申請予定



薬剤耐性がもたらすサイレントパンデミック

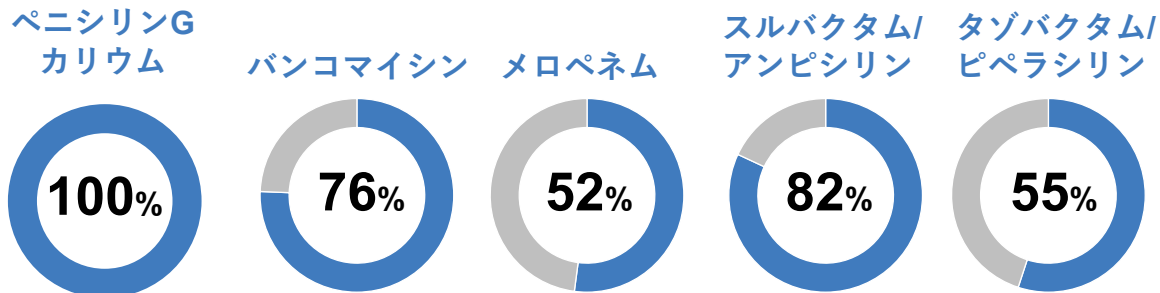
感染症領域での安定供給への貢献

2019年厚生労働省が感染症治療や周術期感染の予防などにおいて、重要な抗菌薬10成分を**Key Drug**として選定し安定供給体制を構築する方針を公表

*経口抗菌薬は対象外

Key Drug10成分中の当社トップシェア*

5 成分



*Copyright©2025 IQVIA. 無断転載禁止。
出典：JPM2025年3月MATをもとに作成。
市場の範囲は当社の定義による。

日本で必要とされるペニシリン系注射抗菌薬原薬の**国内生産化**を、医薬品安定供給支援事業を活用し推進

ペニシリン原薬生産拠点（岐阜工場）



165kL発酵槽

ペニシリン生産に適した
条件を有する国内唯一の事業場

本日の内容

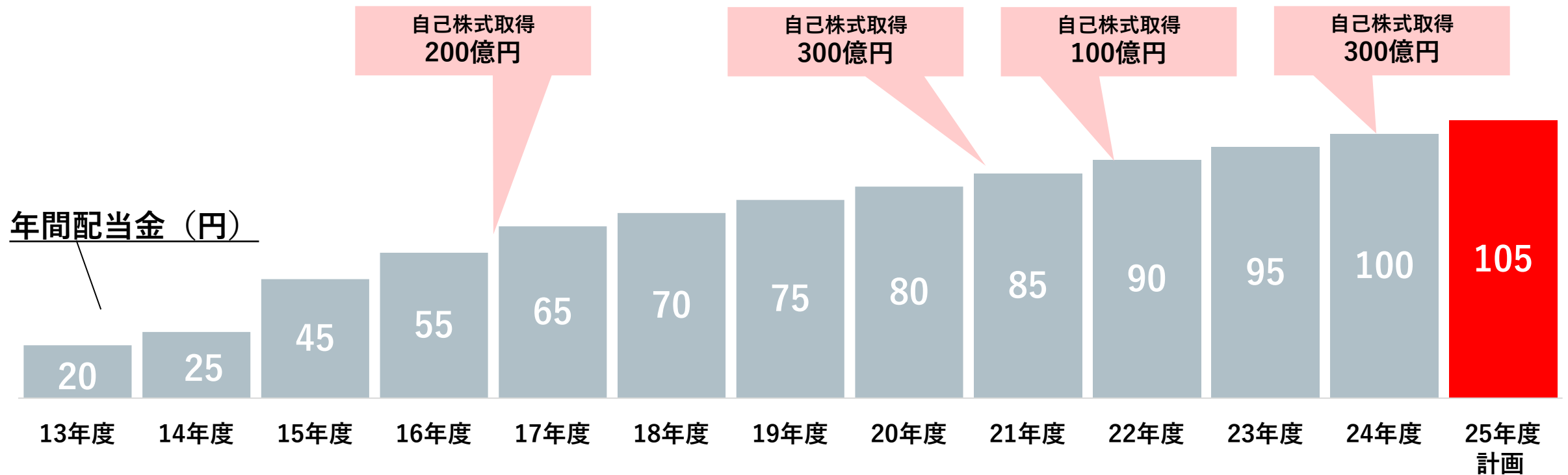
1. 基本情報

2. 成長戦略

3. 株主還元

株主還元強化

- 2025年度も増配を計画、12期連続の増配
- 株主還元方針：総還元性向50%以上、継続的な増配



※2025年12月18日時点

優待制度



ご所有株式数	優待品
100株以上	1,500円相当
200株以上	2,500円相当
1,000株以上	5,500円相当

- 100株以上の株式をご所有の株主さまを対象に、
ご優待品（明治グループ製品詰め合わせ）を10月末ごろにお届け（基準日3月31日）
- 株主さまのご意志により、同等のグループ製品を福祉団体などへご寄贈いただくことも選択できます

参考：2025年3月期の優待品
（1,000株以上5,500円相当）

ここがポイント！

- ①明治グループおススメ商品を、毎年厳選して詰め合わせ
- ②地域限定品など、手に入りにくい商品も詰め合わせ

長期保有株主さまへの優待制度導入

- 2026年3月末日の当社株主名簿に記載または記録された株主さまのうち、100株以上を継続して3年以上保有いただいている株主さまより対象
- 2026年度の優待品とあわせて10月末ごろにお届け予定

	株式保有 3 年未満	株式保有 3 年以上	
ご所有株式数	優待品	優待品	
100株以上	1,500円相当	1,500円相当	+ 長期保有感謝BOX
200株以上	2,500円相当	2,500円相当	
1,000株以上	5,500円相当	5,500円相当	

株主さま向けイベントの実施

- 工場見学と食育セミナーの株主さま特別プログラムを実施
- 2026年3月 大阪工場見学会を開催予定



24年8月23日 大阪工場見学会



25年3月12日 愛知工場見学会



25年8月20日 坂戸工場見学会



健康にアイデアを meiji

- 本資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資の最終決定はご自身でご判断をお願いいたします。
- 本資料に記載された業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。
- 本資料には、薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。